施工説明書

TOTO

木製手すり

YHB63型
YHB403・603型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

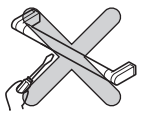
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

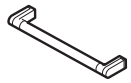
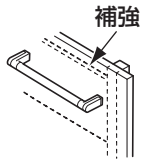
	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁　止	**屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない** **また、下地および商品を水にぬらさない** 部材が腐食することで商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
分解禁止	**修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない** 商品の破損や脱落により使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	

設置に関するおねがい	壁にフリクがある場合、ワッシャーなどでフラット面を確保してください。

⚠ 警　告

必ず実行	**必ず強度のある壁・建築構造体※に取り付ける** 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の構造用合板(JAS規格品)または、同等以上の下地に取り付ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。 ※詳細は **8. 手すりの取り付け** をご参照ください。	
	必ず同梱のタッピンねじ、または当社指定の固定金具を使用し、指定の本数で取り付ける 同梱のタッピンねじ、または当社指定の固定金具を使用しなかったり、指定本数より少ない場合、商品がガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付ける 下地に十分な厚み・補強がないと、商品がガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する 商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	

2. 取り付け前に

取り付け前の注意

●手すりを取り付ける壁に **十分な強度がある** ことを確認してください。

● **屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない** でください。

●取り付け方法は **建物の構造に応じて適切な方法を選んで** ください。
コンクリート下地の場合については別途固定金具をご発注のうえ、同梱の木下地用のタッピンねじで固定してください。
固定金具必要個数は **3.固定金具（別売品）** を参照してください。

●木製手すり（YHB63NB/N型を除く）をハイドロセラ・ウォールに取り付ける場合は、厚さ24mm以上の構造用合板（JAS規格品）、または同等以上の下地材に取り付けてください。

3. 固定金具（別売品）

<固定金具一覧表>

品番	T110D28
名称	樹脂プラグ
形状	φ6×30
入数	20個

<対象製品とねじの使用本数>

品番	ねじの使用本数
YHB403型／YHB603型	4本
YHB603L型／YHB63N型／YHB63NB型	6本
YHB63F型／YHB63FB型	8本

注：プラグ固定の場合、T110D28の入数＝20個/セットとなっています。
上記表を参考に取り付ける手すりのねじの使用本数に応じて発注してください。

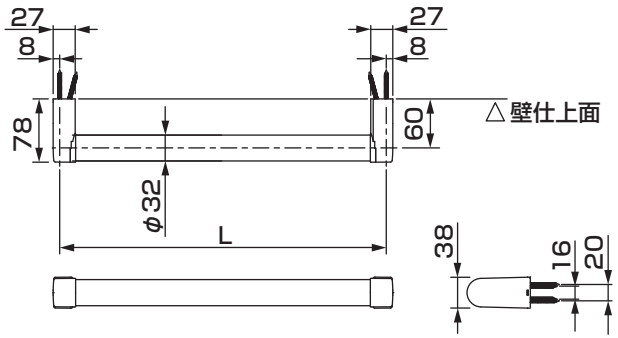
4. 付属部品の確認

次の部品があることを確認してください。

品番	手すり部	ブラケットカバー		棚固定部材	棚板	紙巻器	収納ボックス	なべタッピンねじ				皿タッピンねじ	座金
		I・L型の端部	L型のコーナー部										
	※商品により形状が異なります。				※商品により形状が異なります。			φ5×40	φ4.5×40	座金付き φ4×18	φ4×18	φ4×35	
YHB403型 YHB603型	1個	2個	-	-	-	-	-	8本	-	-	-	-	-
YHB603L型	2個	2個	1個	-	-	-	-	10本	-	-	1本	-	-
YHB63N型	-	-	-	1個	1個	1個	-	-	6本	6本	-	-	6枚
YHB63NB型	-	-	-	1個	1個	1個	1個	-	6本	10本	-	-	6枚
YHB63F型	1個	1個	-	1個	1個	1個	-	4本	6本	6本	-	1本	6枚
YHB63FB型	1個	1個	-	1個	1個	1個	1個	4本	6本	10本	-	1本	6枚

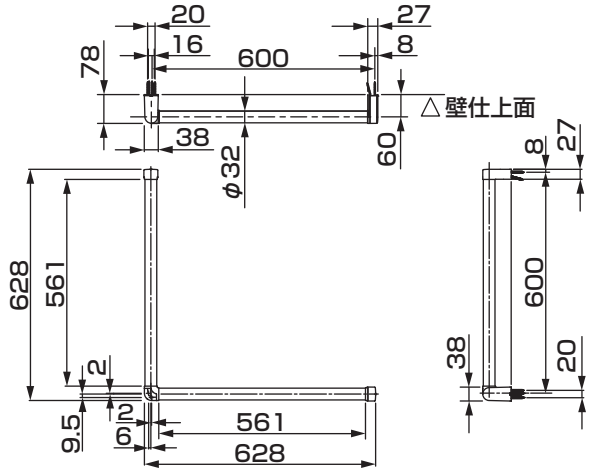
5. 完成図

品番	L
YHB403型	400
YHB603型	600



品番 YHB603L型

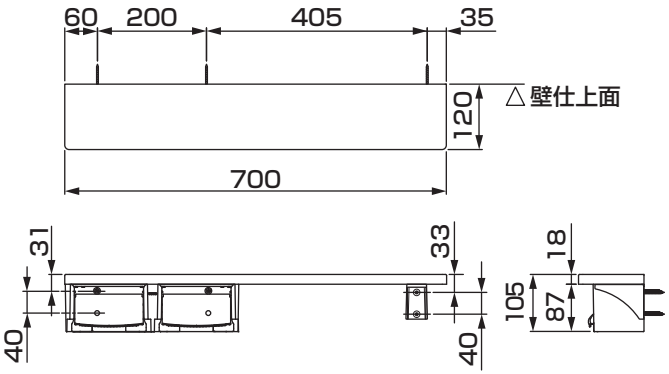
左壁設置の場合



品番 YHB63N型

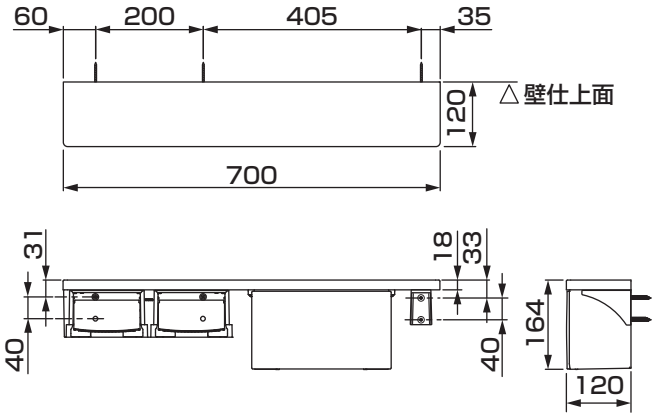
左壁設置の場合

(単位：mm)



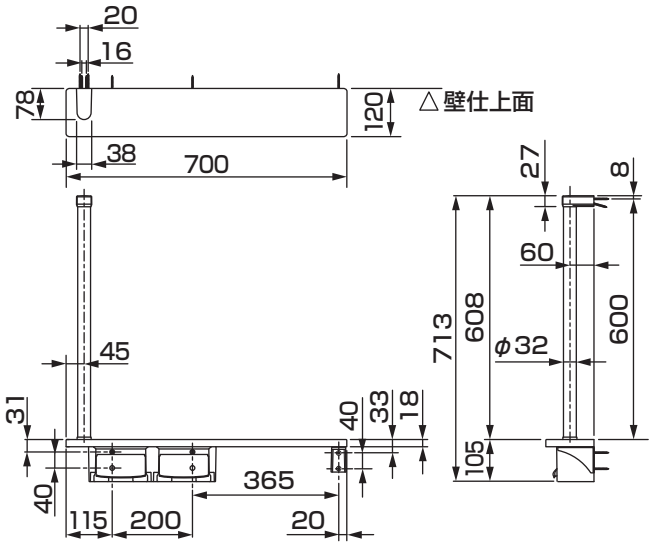
品番 YHB63NB型

左壁設置の場合



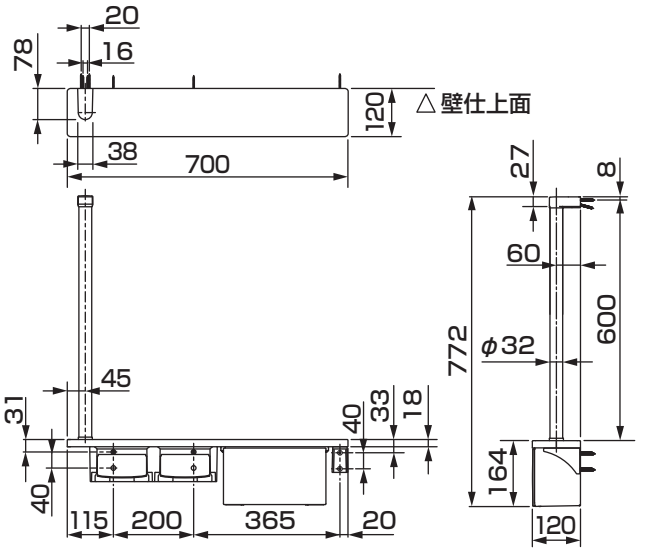
品番 YHB63F型

左壁設置の場合



品番 YHB63FB型

左壁設置の場合



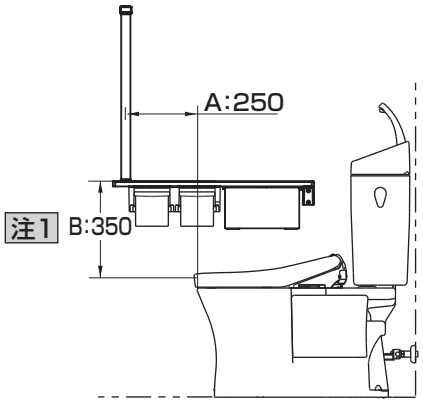
6. 取付位置

寸法は標準的な数値で示しています。使用者が特定できる場合は、その方の使いやすさにあわせて取付位置を決定してください。

(単位：mm)

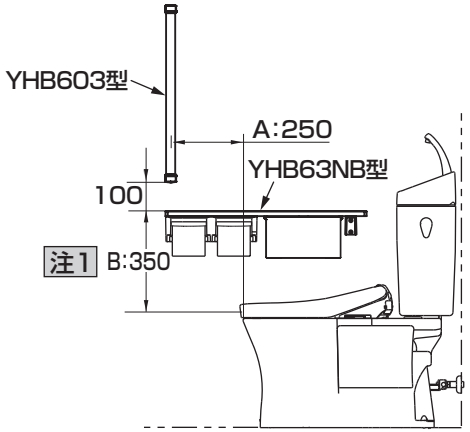
＜収納ボックス付の場合＞

＜YHB63FB型の場合＞



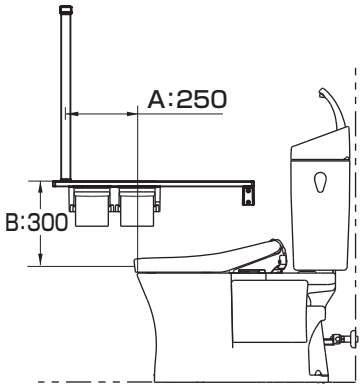
＜YHB63NB型＋YHB603型の場合＞

※セット品番：YHBS603FB型



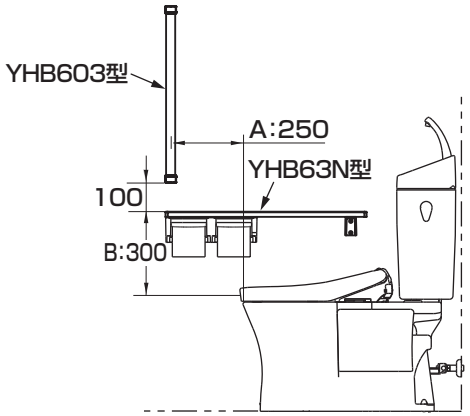
＜収納ボックスなしの場合＞

＜YHB63F型の場合＞

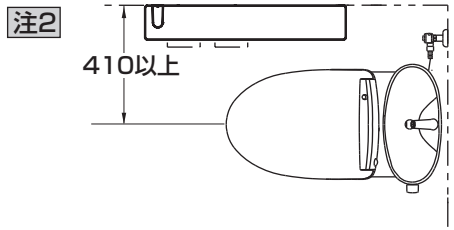


＜YHB63N型＋YHB603型の場合＞

※セット品番：YHBS603F型



収納ボックス付の場合の手すり取り付け壁から便器中心までの距離

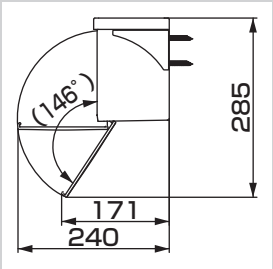


注 意

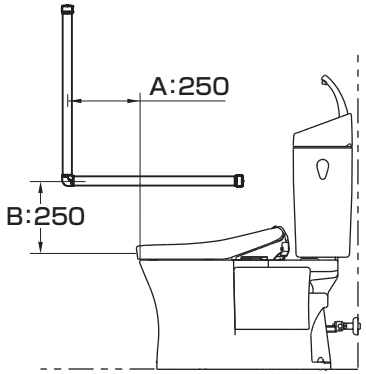
注1：収納ボックス付（YHB63NB型、YHB63FB型）の場合、便座の上から棚上面までの寸法は350mmに取り付けてください。

注2：収納ボックス付（YHB63NB型、YHB63FB型）の場合、手すり取り付け壁から便器中心までの距離は410mm以上に取り付けてください。

収納ボックスの収納扉と便ふたが干渉するおそれがあります。



＜YHB603L型の場合＞

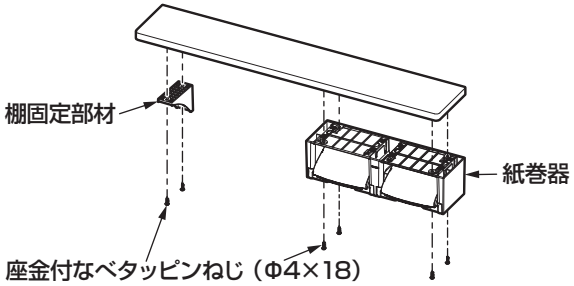


※A：便器先端から縦手すり　　B：便座面から横手すりまたは棚上面

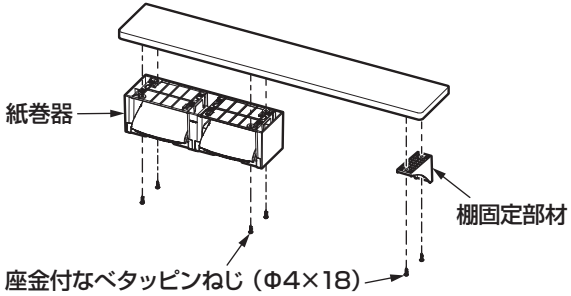
7. 部材の組み立て

棚・紙巻器・棚固定部材の組み立て

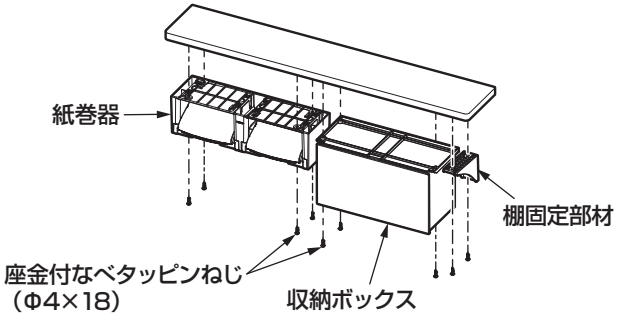
＜右壁設置・収納ボックスなしの場合＞



＜左壁設置・収納ボックスなしの場合＞



＜左壁設置・収納ボックス付の場合＞



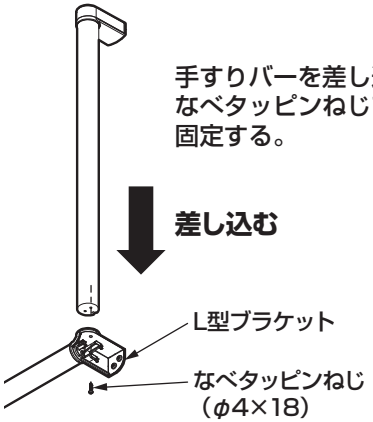
⚠ 警 告

- **棚板に紙巻器、収納ボックス、棚固定部材を取り付ける際は、過大な締め付けトルクで、下穴を破損しないよう締め付けの最後は、必ず手で締める**
- **電動ドライバーなどで過大な締め付けトルクをかけない**
- **一度棚を固定したあと、棚を取り外して付け直さない**
  棚板のねじ穴部が破損し、ねじが抜け商品が外れたり、商品の十分な耐荷重が得られない場合があります。

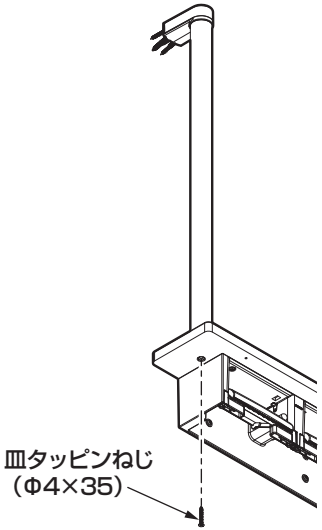
注 意

棚板の下面には、紙巻器、棚固定部材、収納ボックス用の下穴がありますので、必ず下穴に取り付けてください。

L型手すりの組み立て

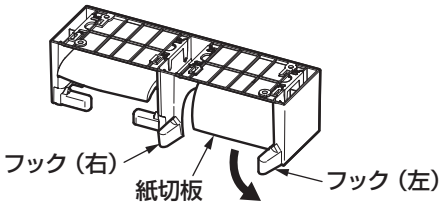


＜YHB63F型、YHB63FB型の場合＞



紙巻器の取付要領

棚板へねじで固定するときは、左右のフックを手前に開き、紙切板を下げてください。



※紙巻器を棚に固定後、紙切板を元の位置に戻す。

棚固定部材の取付要領

8-1. 手すりの取り付け

木下地・タッピンねじ固定の場合

固定金具品番	同梱のなべタッピンねじをご使用ください。

①事前に補強木を取り付ける。注1

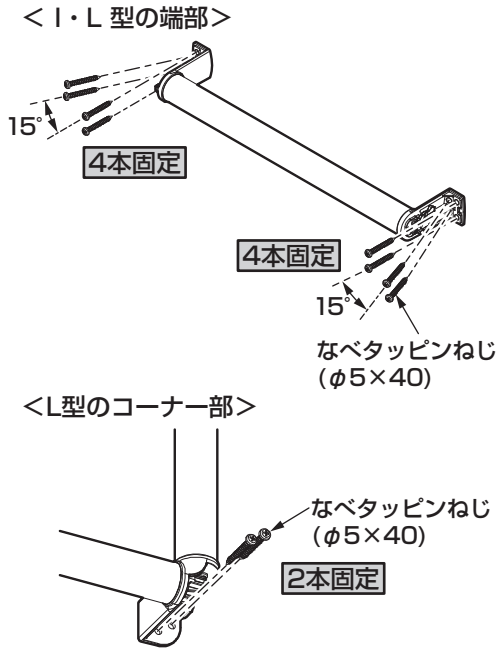
注 意

木製手すり（YHB63NB/N型を除く）をハイドロセラ・ウォールに取り付ける場合は、厚さ24mm以上の構造用合板（JAS規格品）、または同等以上の下地材に取り付けてください。

②心出しをしたあと、φ3mmのなべタッピンねじの下穴をあける。注2

※タイル壁の場合は、タイル部のみφ7mmの通し穴をあけてください。また、ハイドロセラ・ウォールの場合はハイドロセラ・ウォール部のみφ10mmの通し穴をあけてください。

③なべタッピンねじで固定する。水平方向を先にけがいて下穴をあけ、手すりを仮固定して斜め方向の下穴をあける。注3 注4



⚠ 警 告

注1：厚み12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または、同等以上の下地材に必ず取り付ける
12mm未満の場合は補強木をもうける
補強木を取り付けないと、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。

注2：φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用する
ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心揺れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注3：なべタッピンねじを強く締め過ぎて表面仕上げ材や合板・補強木などを破損しないように注意する

注4：一体型の場合、φ5とφ4.5のねじの間違いに注意する
（手すり部壁固定ねじ：φ5×40　棚部壁固定ねじ：φ4.5×40）

コンクリート下地：プラグ固定の場合

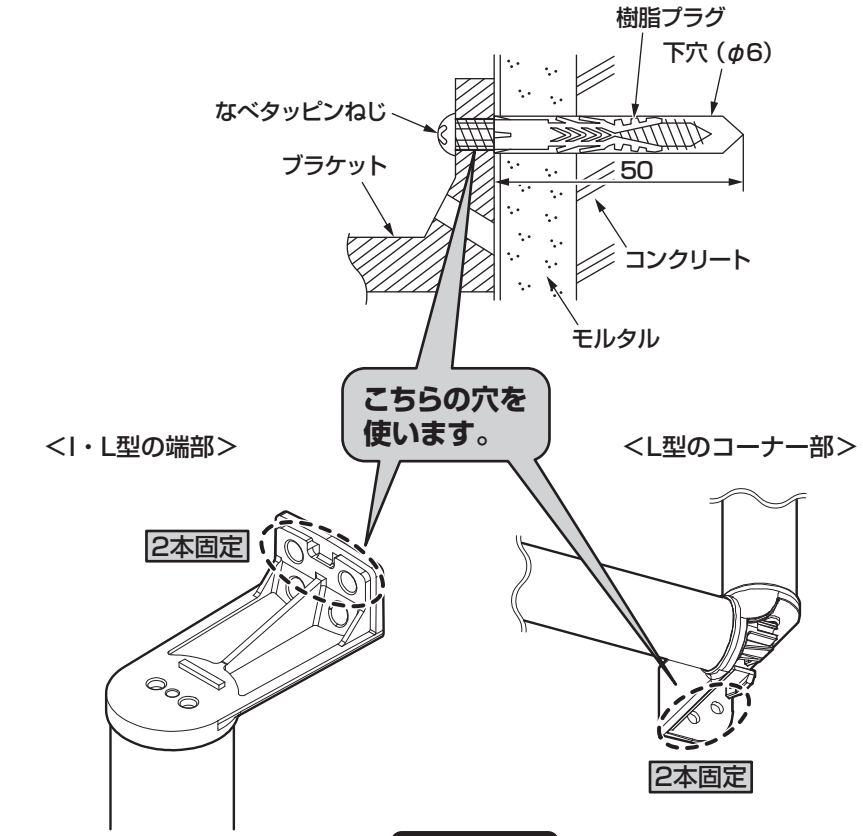
固定金具品番	T110D28、同梱のなべタッピンねじをご使用ください。

①心出しをしたあと、φ6mm、深さ50mmの樹脂プラグの下穴をあける。注1

②樹脂プラグを下穴に打ち込む。

③なべタッピンねじで固定する。

（単位：mm）



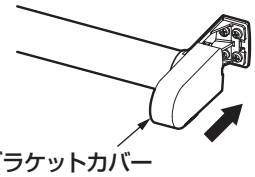
⚠ 警 告

注1：Φ6mmの下穴をあけることのできるドリルを使用する
ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心揺れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

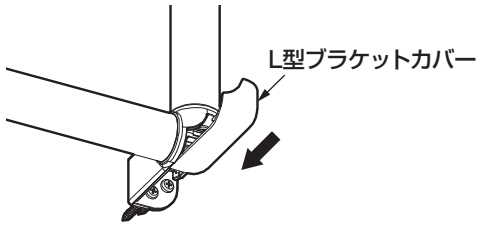
8-2. 手すりの取り付け

④ブラケットカバーを矢印の方向に水平に押し込んでください。

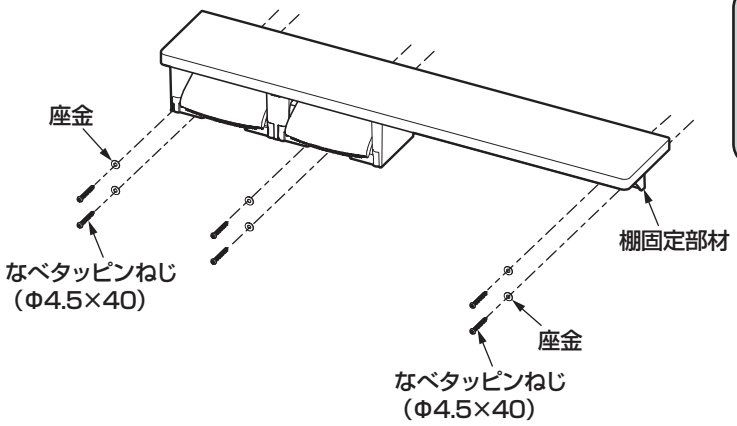
<I・L型の端部>



<L型のコーナー部>



⑤棚固定部材・紙巻器・収納ボックスは座金を入れ、なべタッピンねじで固定する。注1



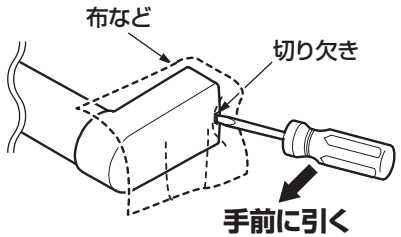
⚠ 警 告

注1：壁取付ねじを締めた際、ねじ頭にバリが出てこないことを確認する
バリが出ていると、使用される方が触ったりすることにより、けがをするおそれがあります。

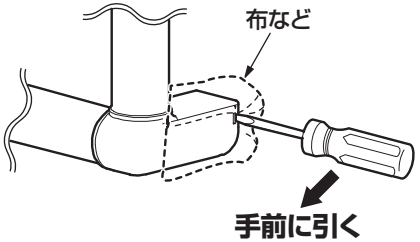
9. ブラケットカバーの外しかた

ブラケットカバーを外すときは、ブラケットカバーを布などで保護し、
⊖ドライバーを使用して外してください。注1
このとき、部品に傷が付かないように注意してください。

<I・L型の端部>

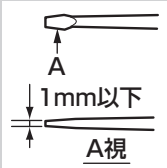


<L型のコーナー部>



注 意

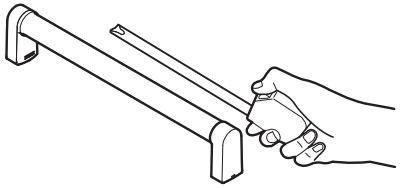
注1：⊖ドライバーは先端部の厚み1mm以下のものを使用し、布などでブラケットカバーを保護してください。
ブラケットカバーに傷が付くおそれがあります。



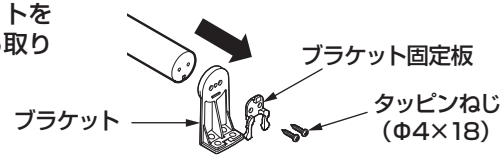
10. 手すりバーの調整

手すりバーの長さを短くしたいときは、次の手順で行ってください。

①長さを決定する。

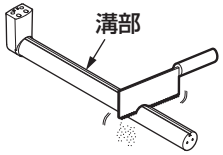


②片側のブラケットを手すりバーから取り外す。

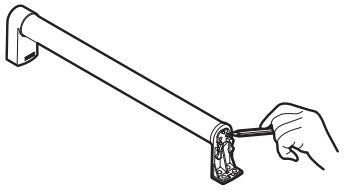


③手すりバーを壁側（溝がある方向）からカットする。

※表面にバリが発生した場合は、バリをカッターなどでカットし切断面を紙ヤスリなどで平らにしてください。

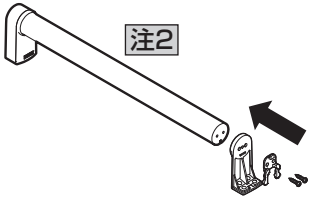


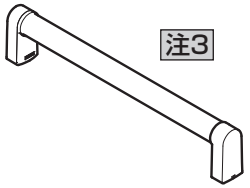
④ブラケットを差し込み、壁または、床で平行を出し、下穴位置を決める。



⑤φ3、長さ20mmの下穴をあける。注1

⑥分解と逆の手順で組み立て、完了。

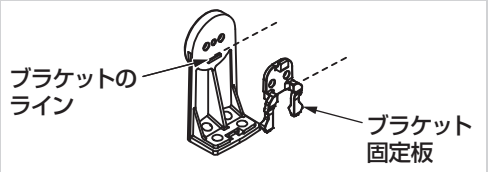




注 意

注1：手すりバーをカットした際は、必ず下穴をあけてください。

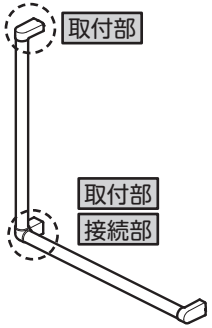
注2：ブラケット固定板はブラケットのラインと平行になるように取り付けてください。

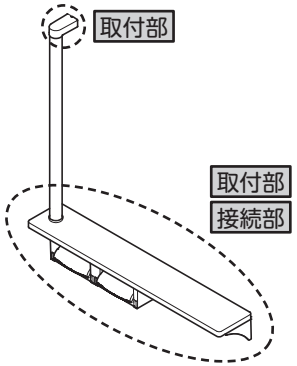


注3：タッピンねじを締め付けるときは、空転しないように締め過ぎに注意してください。
ねじ穴部が破損し、ねじが抜け商品が外れたり、商品の十分な耐荷重が得られない場合があります。

11. 点検項目

取付けが完了したあと、次の項目を確認してください。





ガタツキの確認

手すりにガタツキがないか確認してください。

接続部はしっかり組み立てていますか？

→ **7. 部材の組み立て** 参照

取付部は壁にしっかり取り付けていますか？

→ **8. 手すりの取り付け** 参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。